

## 有安さんと大庭さんの 往復書簡

---

美幸さん

こんにちは！

新年度にゴールデンウィークと、人の波がすっかり数年前と同じほどに戻ってまいりました。

今年のゴールデンウィークは、忘れていた渋滞がきっちり起きているようです。連休中の仕事の折には気をつけなければと、ヒヤッとしたほどです。

コロナを経て変わったこと、変わらないこと、たくさんあるのだとしみじみ振り返ります。

さて、今回は「突然入るスイッチ」がテーマでしたね。私の場合、面倒だと感じていても波に乗ってしまえばできてしまう「作業興奮」をよく利用しています。

流れに乗る、というのが正直なところで、美幸さんのように「頼られたらスイッチが入る」ということはむしろ少ないかもしれません。

作業を進めるためのスイッチであれば、快適さやレベル感を求めます。すっきり感を求めてテトリスを数分間だけプレイすることもあります。

そのスイッチはわかりやすいものですが、もうひとつスイッチを力強くONすることがあります。

それは、アートや自然などから「思いがけず」五感を揺さぶられること。

森の中で強めの風に吹かれる、美術館ではないカフェですばらしいインテリアに触れる、遠くで鳥の歌声がうつくしく響いている…など、期待もなにもしていないときに心の琴線に触れるなにかがあると、スイッチが入ります。

先日、とある島にツーリングに出かけました。

私の暮らす瀬戸内には、ハンセン病患者さんの隔離の歴史があります。

未知の病としておそれられた病気にかかり、知らない島に連れて行かれた人々が歳月を重ねてきた島です。

## 有安さんと大庭さんの 往復書簡



めったにジュースを注文することはありませんが、自家製シロップのレモンスカッシュの文字に、思わず注文。「実はいま、レモンじゃなくて八朔なのですが…」とお聞きし、八朔大好きな私、ガッツポーズです。

島といっても、小さな橋が架けられ、バイクで1分半も走れば渡れるような場所。

当時はどんなに心の距離があったことでしょう。

その島の療養所のなかに、一般開放されているカフェがあります。あまりに素敵な景色だと聞き、訪れました。

瀬戸内の八朔の香りがする飲みものを注文し、満ちる潮と引き潮、いかだを連れて帰るボートを見届けました。

住民の方が連れてきたワンちゃんは、人懐っこい性格。

私たちを歓迎してぴったりと張り付き、気が済んだら自分の椅子で休んでいます。

私よりもずいぶんお若い方と、おそらくご家族には何年も会っておられない住民の方と、いつしか開かれたおしゃれなカフェのスタッフさん。

グラスと同じ温度に冷えたガラスストローは、きらきらと音を立てて氷と遊んでいます。

そこにあるのは悲しみではなくて、ただの日常でした。

—と、こんなふうにはイマジナリースイッチが入るのです。困りますね。サラリーマンの頃は封印して暮らしていましたが、もう何年もわがままを貫いています。

けれども私たちがバトンを受け継いだとして、できることはそれぞれの生活を慈しむことなのかもしれません。

そろそろ夏の支度がはじまりますが、美幸さんのいまの「夏の小さな幸せ」お聞かせください。

私の夏の小さな幸せは、蚊取り線香を眺めることです。今年も刺されませんように！

愛実

愛実さん

こんにちは!

すっかりご無沙汰してしまい失礼いたしました。  
目の前にやらなければいけないことが次々と舞い込んできて、  
目まぐるしい毎日を過ごしております。  
しかし、もともと活動的な私にとっては心地良いことでもあります。  
忙しい=充実していると思えるのですから、自分でも楽な性格だと思う次第です(笑)

そんな中で、「早く愛実さんへのお返事も書かないと」と思いつつ今に至るのは、  
いつの間にかそれだけ旧知の友人のごとく甘えられる存在になったからだと思っています。  
都合のいい言い訳になっていないかしら? 焦

これ以上言い訳を並べる前に本題に入りましょう。  
今回は《夏の小さな幸せ》についてでしたね。

私は暑い季節がとっても苦手です。  
もともと低血圧なのに、照り付けるような暑さに見舞われると、  
座っているだけでも倒れそうになります。

そんな私の夏のご褒美は、ビールを飲むこと。  
特に長期間にわたり準備をしてきた仕事や、  
とてもプレッシャーのかかる仕事をやり遂げた後の一杯は、  
この上なく美味しく感じるもの。まさに至福の一時。

特に今年は日本各地のみならず世界のクラフトビールを買い集め、  
仕事終わりに「どれにしようかな♪」と鼻歌交じりに選ぶ時間が病みつきとなっています。

ビールは年中飲むのですが、汗をかく時期はフルーティーな味を好みます。  
商品説明を見てから買うようにしているのですが、  
最近の瓶や缶はパッケージがとても可愛く、手に取る瞬間からワクワクが止まりません。  
味の説明そっちのけでパケ買いしてしまうこともしばしば。

そんな大切なご褒美をより楽しむために、  
先日はビールを美味しく飲むためのグラスを購入しました。  
キンキンに冷えたビールを注いでも汗をかかないガラスタンブラー。  
朝、乾ききったタンブラーを食器棚に片付ける際に  
「よし、今晚もこのグラスにお世話になるために仕事を頑張ろう!!」  
と気合が入るものです。

愛実さんもこんな風に、自分にご褒美を与えて鼓舞することはありますか？  
大人になると褒められることが少なくなる分、  
頑張っている自分を愛でて明日への活力に繋げたいものです。  
だから私は今日もご機嫌♪

それでは、また。

美幸



買い集めたクラフトビールを並べてみました。ポップな柄が印象的なものや瓶に入ったものなど、ワクワクしますよね！